

湯沢市小・中学校における 大規模自然災害発生時の対応についてのガイドライン

湯沢市教育委員会

R8.3.2

I. 臨時休業措置判断の基準

湯沢市において次のような状態が発生した際、市教育委員会が臨時休業措置判断を行う。

- ・大規模自然災害（震度5弱以上の地震）が発生し、電気・水・通信・交通等のライフラインが途絶えた状態である場合
- ・大規模自然災害（台風、豪雨、大雪等）が予見される場合

II. 基本的な考え方と行動

1. 学校・保護者への連絡【市教委→各学校・保護者】

○市教育委員会（以下、市教委）が災害対策部または災害対策本部等と協議の上、対応（臨時休業等）決定。各学校・保護者へ連絡。

- ・市教委一斉メール

○必要に応じて、次の連絡方法を実施する。

- ・学校に対して、電話及び個別メール
- ・市防災行政無線による放送
- ・FMゆーとぴあによるラジオ放送
- ・湯沢市テレビ回覧板及びSNS等による広報



2. 安全確保と安否確認【市教委→保護者→各学校】

○市教委から保護者へ安否確認メールを送付。各学校において安全確保、安否確認（情報収集）。

〈家庭にいる場合〉

- ・グーグルフォームによる情報収集（市教委一斉メールにて連絡・二次元コード配布）
- ・ロイロノートによる情報収集（児童生徒に事前周知）

〈学校にいる場合〉

- ・直接人数確認

〈上記の方法で確認できない場合の確認方法〉

- ・災害用伝言ダイヤル（171）による情報収集 <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>
- ・災害用伝言板（web171）による情報収集 <https://www.ntt-east.co.jp/saigai/web171/>
- ・学校非常用電話による情報収集
- ・教職員による家庭訪問、登下校路確認（※安全が確認された場合のみ）



3. 市教委への連絡【各学校→市教委】

○各学校において、把握した分から随時市教委へ連絡。夜間、休日等においては、可能な範囲で学校施設等の状況確認を行い、避難所開設が可能かどうかの情報を報告する。（※安全が確認された場合のみ）

〈連絡方法〉

- ・各校長→市教委メール
- ・学校非常用電話

〈上記の方法で連絡できない場合の確認方法〉

- ・災害用伝言ダイヤル（171）
- ・災害用伝言板（web171）



4. 学校再開の連絡【市教委→各学校・保護者】

○安全（日常生活、通学路等）確保後、市教委から一斉メールにて連絡。

- ・必要に応じて、各学校から保護者へ連絡メールを配信

III. 災害発生時の対応詳細

時間帯	市教委	管理職	教職員	児童生徒・保護者	
事前	<input type="checkbox"/> 本ガイドラインについて、各校へ周知する。 <input type="checkbox"/> 保護者配付用、児童生徒配付用資料を作成し各校へデータ送付する。 <input type="checkbox"/> 市教委事務局員間での連絡方法の確認と、参集計画の作成・確認を行う。 <input type="checkbox"/> 市総合防災室・FMゆーとびあ等との連携体制を検討・確立する。 <input type="checkbox"/> 災害発生時を想定した「安否情報収集訓練」を各校、保護者と連携して行う。 <input type="checkbox"/> 市地域防災計画及び市業務継続計画に基づく行動指針の確認を行う。	<input type="checkbox"/> 職員間での連絡方法の確認と、参集計画の作成・確認を行う。 <input type="checkbox"/> 地震災害発生時の動き（臨時休業、安全確保、安否確認の方法等）について、保護者・児童生徒へ周知し、引き渡しカードの作成を保護者へ依頼し掌握する。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて各家庭との連絡方法について検討し、資料を準備する。（災害用伝言ダイヤル・災害用伝言板等の活用方法等） <input type="checkbox"/> 非常用電話の保管場所・設置場所・使用方法の確認を行う。 <input type="checkbox"/> 災害発生時を想定した「安否情報収集訓練」を市教委とともに実施する。 <input type="checkbox"/> 各校の学校安全計画（災害発生時対応マニュアル）の修正を行う。 <input type="checkbox"/> 警備保障会社との事前打ち合わせ等を行う。 <input type="checkbox"/> 文部科学省「学校防災マニュアル（地震・津波災害）作成の手引き」「実践的な防災教育の手引き」及び地域の防災マップ等の確認を行う。	<input type="checkbox"/> 自身（家族）の安否について管理職に連絡をする。 <input type="checkbox"/> 各校の参集計画、自身の被害状況に応じて学校へ参集、もしくは自宅待機する。	<input type="checkbox"/> 災害発生時の対応の仕方についての話を聞き自分の身を守る方法（在宅中、登下校時等）と、連絡手段について確認する。 <input type="checkbox"/> 引き渡しカードの作成を行い、引受人の事前確認を行う。 <input type="checkbox"/> 事前訓練により、災害発生時の身の守り方や安否連絡についてのシミュレーションを行う。	
在宅時 ・登校前 ・休業中	発生直後	<input type="checkbox"/> 被害状況を確認し、市災害対策本部会議等で協議の上、臨時休業等を決定して各校・保護者へ連絡する。 ・市教委一斉メール ・市防災無線による放送 ・FMゆーとびあによるラジオ放送	<input type="checkbox"/> 市教委からの連絡を受け、必要があれば市教委と連絡を取り合う。 <input type="checkbox"/> 職員の安否確認を行い今後の動きについて連絡をする。 <input type="checkbox"/> 可能な範囲で(※)校舎等の確認・点検を行う。 ※安全が確認された場合のみ	<input type="checkbox"/> 事前訓練等で得た知識と経験をもとに、各家庭で自身を守る行動をとる。	
	安全確保後	<input type="checkbox"/> 児童生徒の安否確認を行う。 （市教委一斉メール→グーグルフォーム） <input type="checkbox"/> 各校からの児童生徒、職員の安否情報、被害状況をまとめ、市災害対策本部へ情報提供をするとともに、必要に応じて救助要請を行う。	<input type="checkbox"/> 児童生徒、職員の安否確認情報をまとめ、市教委へ連絡する。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて市教委と連絡を取り合う。 可能な範囲で(※)学区内（通学路等）の被害状況について情報収集を行う。 ※安全が確認された場合のみ	<input type="checkbox"/> 児童生徒の安否確認情報を管理職に伝える。 可能な範囲で(※)学区内（通学路等）の被害状況の確認を行う。 ※安全が確認された場合のみ	<input type="checkbox"/> 学校へ安否と所在を伝える。 ・保護者 グーグルフォーム ・児童生徒 ロイロノート （・災害用伝言ダイヤル ・災害用伝言板） <input type="checkbox"/> 状況に応じて避難所へ避難する。
	避難所	<input type="checkbox"/> 避難所の状況について市災害対策本部と情報共有を行い、必要に応じて学校に協力要請を行う。 <input type="checkbox"/> S B運行会社へ対応についての連絡を行う。	<input type="checkbox"/> 避難所（学校の場合）運営に際して、避難所運営班と情報共有を行い、必要に応じて物品提供を行うなどの判断をする。	<input type="checkbox"/> 避難所（学校の場合）運営に可能な範囲で協力する。	<input type="checkbox"/> 避難所で適切な過ごし方を考え、状況に応じて避難所（学校の場合）運営をサポートする。
収束後	<input type="checkbox"/> 関係機関等との協力を得て各学区の安全点検を行う。 <input type="checkbox"/> 各校・保護者へ、市教委一斉メールにて学校再開の連絡をする。	<input type="checkbox"/> 可能な範囲で(※)、学区内（通学路等）の情報収集を行い、市教委へ連絡する。 ※安全が確認された場合のみ <input type="checkbox"/> 必要に応じて、各校から保護者へ連絡メールを配信する。	<input type="checkbox"/> 可能な範囲で(※)、学区内（通学路等）の安全確認を行い、市教委へ連絡する。 ※安全が確認された場合のみ	<input type="checkbox"/> 市教委、学校からの連絡メールを受け、学校再開に向けた準備を整える。	

時間帯	市教委	管理職	教職員	児童生徒・保護者	
登下校中	発生直後	<input type="checkbox"/> 校内にいる児童生徒・教職員に対し、各校の「災害発生時対応マニュアル」に従って身を守るための指示を出す。 <input type="checkbox"/> 校内にいる児童生徒の安否情報を収集する。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の所在情報を収集する。（校内にいるのか、登下校中なのか等） <input type="checkbox"/> 校舎等の安全確認・点検を行う。 <input type="checkbox"/> 市教委からの連絡を受け、必要があれば市教委と連絡を取り合う。	【勤務後の場合】 <input type="checkbox"/> 校内にいる児童生徒に身を守る行動をとらせる。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の避難誘導を行い、安否確認をする。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の所在について確認する。（校内にいるのか、登下校中なのか） 【勤務前の場合】 <input type="checkbox"/> 自身（家族）の安否について管理職に連絡をする。 <input type="checkbox"/> 各校の参集計画、自身の被害状況に応じて学校へ参集、もしくは、自宅待機する。	【校内にいる場合】 <input type="checkbox"/> 教職員の指示に従い、身を守る行動をとる。 【登下校路にいる場合】 <input type="checkbox"/> 最寄りの安全な場所に直ちに避難し、身を守る行動をとる。	
	安全確保後	<input type="checkbox"/> 児童生徒の安否確認を行う。（市教委一斉メール・グループフォーム） <input type="checkbox"/> 各校からの児童生徒、職員の安否情報、被害状況をまとめ、市災害対策本部へ情報提供をする。	<input type="checkbox"/> 児童生徒、職員の安否確認情報をまとめ、市教委へ連絡する。 <input type="checkbox"/> 必要に応じて市教委と連絡を取り合う。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の引き渡しを監督する。 <input type="checkbox"/> 可能な範囲で(※)学区内（通学路等）の被害状況についての情報収集を行う。 ※安全が確認された場合のみ	<input type="checkbox"/> 児童生徒の安否確認情報を管理職に伝える。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の安全・健康管理を行う。 <input type="checkbox"/> 児童生徒の引き渡しを行う。（引き渡しカードの活用） <input type="checkbox"/> 可能な範囲で(※)学区内（通学路等）の被害状況の確認を行う。 ※安全が確認された場合のみ	【校内にいる場合】 <input type="checkbox"/> 自他の安全を考え、避難所（学校）で落ち着いて過ごす。 【自宅に戻った場合】 <input type="checkbox"/> 学校へ安否と所在を伝える。 ・保護者 グループフォーム ・児童生徒 ロイロノート （・災害用伝言ダイヤル ・災害用伝言板） <input type="checkbox"/> 状況に応じて避難所へ移動する。 状況に応じて、避難所から自宅へ戻る準備をする。
	収束後	<input type="checkbox"/> 関係機関等の協力を得て各学区の安全点検を行う。 <input type="checkbox"/> 各校・保護者へ、市教委一斉メールにて学校再開の連絡をする。	<input type="checkbox"/> 可能な範囲で(※)、学区内（通学路等）の情報収集を行い、市教委へ連絡する。 ※安全が確認された場合のみ <input type="checkbox"/> 必要に応じて、各校から保護者へ連絡メールを配信する。	<input type="checkbox"/> 可能な範囲で(※)、学区内（通学路等）の安全確認を行い、市教委へ連絡する。 ※安全が確認された場合のみ	<input type="checkbox"/> 市教委、学校からの連絡メールを受け、学校再開に向けた準備を整える。

